

地域人材ネット

ICT活用と図書館を核にした持続可能な地域づくり

太田 剛

(おおた つよし)

図書館と地域をむすぶ協議会／編集工学機動隊GEAR 代表



○ 登録者情報

所在地

東京都台東区

略歴

1988年: 明治大学農学部農学科 卒業(応用昆虫学研究室)
(1985~86年: イメージフォーラム付属映像研究所所属)
1988~91年: 私立成立高等学校(東京都)にて高校理科(生物教員)
1991~2013年: 編集工学研究所(松岡正剛所長)にてGEARチームを統括
(編集工学を応用したメディア制作から地域活性化、システム開発、企業コンサルまで
数々のプロジェクトを推進する実行部隊であるGEARチームを統括する事業部長)
2005~2006年: ICT住民参画研究会(座長: 石井威望)WG委員(総務省)
2008年~現在: 慶應義塾大学SFC(ネットワークコミュニケーション実践)講師
2013年~現在: 暖簾分けして編集工学機動隊GEARを設立し代表
2014年~現在: 図書館と地域をむすぶ協議会 代表
2018~2022年: 活字文化議員連盟「公共図書館Pt」事務局長
2018年~現在: 一般社団法人 教育環境研究機構Fora 理事
2018年~現在: 一般社団法人 食文化観光推進機構 理事
2021年~現在: 一般社団法人 アマミアンエコシステム 理事

著書・論文等

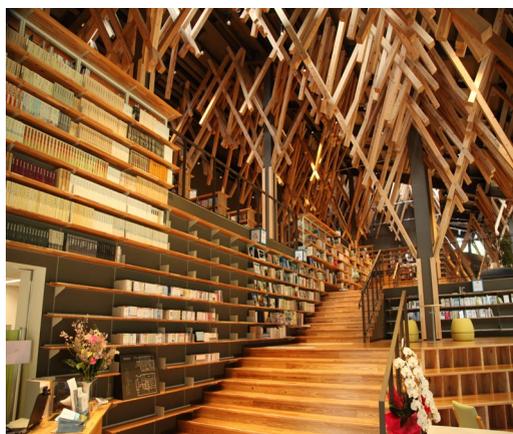
太田剛, “持続可能な社会づくりと読書〜「利他」で考える読書推進計画の試論,” 未来の図書館研究所調査・研究レポート, May.2022.
太田剛, “図書館と地域のレジリエンス ―図書館づくりの現場から―,” 画像電子学会, Jan.2021.
太田剛, “図書館建設のハードとソフトを編集する,” みんなの図書館, 通巻501号, 2019年1月号, pp.23-31, Jan.2019.
太田剛, “図書館と地域をむすぶ「共同知」の編集〜編集的な分類と本棚づくりの現場から,” みんなの図書館, 通巻 509 号, 2019 年 9 月 号, pp.2-23, Sep.2019.
太田剛, “図書館で地域が変わる、未来を拓く〜ソーシャルイノベーションを起こす図書館へ,” 地域開発, vol. 626, 2018 年夏号, pp.64-69, Aug.2018.
太田剛, “図書館から始める知の地域づくり,” 人間会議, 通巻37号, 2017年冬号, pp.72-77, Dec.2017.

○ ICT活用と図書館を核にした持続可能な地域づくり

取組の内容

1995年の阪神淡路大震災および日本のインターネット元年を契機として、地方自治体のITC活用およびコミュニティ再生プロジェクトを数々手掛け、慶應義塾大学SFCで16年にわたり(2024年現在も継続中)「ネットワークコミュニケーション実践」の教鞭をとっています。2010年からは、地域づくりの中核として図書館に注目し、地域ごとに相応しい知的体験を生み出す図書空間を再編集し、図書館の役割を再設定しながら多様な人材育成と多層的な地域経済を展開するソーシャルイノベーションの場を創出するプロジェクトの実績が多数あります。下記に、その一部を抜粋して記します。

- ・ 京都デジタルアーカイブプロジェクト(経産省・京都市)／チーフD
- ・ 札幌市地域文化資産デジタルアーカイブ構築業務(札幌市)／チーフD
- ・ 岐阜県情報化戦略策定業務(岐阜県)／チーフD
- ・ 岐阜県観光戦略策定業務(岐阜県)／チーフD
- ・ 岐阜県デジタルアーカイブ「岐阜窓庫」企画制作(岐阜県)／チーフD
- ・ 金沢市文化芸術振興条例策定業務(金沢市)／チーフD
- ・ 多治見市商店街活性化プラン策定(多治見市)／チーフD
- ・ 箕面市編集人材育成事業「Editみのお」(箕面市)／チーフD
- ・ 地域ICTシステム「コミュニティ・メーカー」開発(NTT)／チーフD
- ・ 地域ICT実証実験(NTT・洲本市・桐生市・藤沢市)／チーフD
- ・ 藤沢市市民電子会議室(藤沢市)／世話人
- ・ 全国市町村アカデミー「ITと市民コミュニティ」講師
- ・ 「ICT住民参画研究会」(座長:石井威望)WG委員(総務省)
- ・ 災害時におけるネットワークサービス相互接続研究会 事務局(経産省)
- ・ 岡崎市新美術館設立事業(岡崎市)／映像部門チーフD
- ・ 市民電子会議室立上げアドバイザー(鳥取県・三重県・豊橋市・札幌市ほか)
- ・ 地域SNS市民記者養成プロジェクト(浜松市・秩父市)／チーフD
- ・ 地域コンテンツエディター養成アドバイザー(総務省)
- ・ 平城遷都1300年記念ファイナルフォーラム(奈良県)／映像部門チーフD
- ・ 奈良県デジタルアーカイブ「ナラジア」構想(奈良県)／チーフD
- ・ 全国リレーシンポ「知の地域づくりを考える」帯広市・和歌山市・多摩市(文字・活字文化推進機構)コーディネーター／パネリスト
- ・ 活字文化議員連盟「全国書誌情報の利活用に関する実務者会議／作業部会」委員
- ・ 活字文化議員連盟「公共図書館プロジェクト」事務局長
- ・ 幕別町図書館システム改修プロジェクト コーディネーター(北海道幕別町)
- ・ 「ふみの森もてぎ」新図書館建設ソフト計画(栃木県茂木町)／チーフD
- ・ 「雲の上の図書館」新図書館建設ソフト計画(高知県梶原町)／チーフD



「雲の上の図書館」(高知県梶原町)
人口3500人の山間の図書館に、週末は国内外含め2000人が訪れることも。日本図書館協会第34回建築賞を受賞(建築設計は隈研吾建築都市設計事務所)



幕別町図書館(北海道)
図書館エディター養成講座による6か月の濃密な研修で誕生した「まぶさ」(まくべつBOOKサポーター/ライブラリーエディター)。地域コンテンツの編集・発信や本棚編集等を担う。

実績

2012年～19年：幕別町図書館（北海道）のシステム改修を契機とした図書館改革のアドバイザー／コーディネータ。東京の業者丸投げの図書納入をやめ、地元書店との関係を再構築し、福祉施設による設備作業を絡めることで地域経済循環モデルを構築し、長野・秋田・長崎など全国で「幕別モデル」として拡散中。また、図書館の地域コンテンツを編集する人材を育成する図書館エディター養成講座として6カ月にわたる育成カリキュラムを実施し、約20名の「まぶさ（まくべつBOOKサポーター）」を認定。このカリキュラムは瀬戸市・岐阜市・小松市でも実施され、地域コンテンツの編集や発信で活躍する人材を輩出中。また、幕別町図書館ではストレス測定器と落語会を組み合わせた未病化による自治体の医療負担金を軽減する事業（地方創生交付金採択事業）するなど、全国的に注目されています。

2015年～17年（オープンは2016年）：「ふみの森もてぎ」（栃木県茂木町）の新図書館建設におけるソフト計画をフルコーディネート。「幕別モデル」を発展させた、道の駅に書店機能を持たせ、福祉施設との連携による地域経済循環モデルを構築。また図書館友の会「こだまの会」構築のための研修などを実施。日本図書館協会第34回建築賞を受賞（建築によるハードと運用によるソフトの充実の両立が評価される／建築は龍設計事務所）

2016年～現在（オープンは2018年）：「雲の上の図書館」（高知県梶原町）の新図書館建設におけるソフト計画をフルコーディネート。高知県と愛媛県の県境にある人口3500名の山間の町に、自由配架・飲食自由・全館上足など既存図書館にはない図書館を構築し、週末には県外（海外含め）2000人が訪れることもある人気スポットに。日本図書館協会第37回建築賞を受賞（建築設計は隈研吾建築都市設計事務所）

工夫した点や苦労した点

日本の公共図書館は社会教育施設とされますが、多くの自治体の中では地域づくりの主要施設とは見なされず、常に予算削減の対象とされ、昭和38年のモデルのまま、欧米に比べて200年遅れているとも言われてきました。資料購入や指定管理制度などで東京の専門業者丸投げの事例も多い中で、図書館を地域づくり、地域活性化の中心施設として再設定し、持続可能な地域の未来にむけた拠点として、人材育成や地域循環型の経済サイクルづくりに苦心してきました。

ひとことPR

持続可能な社会づくりへの世界的な大きなパラダイムチェンジが起こる中で、図書館に期待される役割はどんどん膨らみ、この10年で日本の図書館も大きく変わりつつあります。「民主主義の砦」ともいわれる図書館ですが、既成概念を取り除き、本棚の力、人材の力、ICTの力をフル活用することで、図書館はソーシャルイノベーションを創り出す、未来に向けた地域づくりの中心施設として生まれ変わります。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

| | |
|-----------------------------------|---|
| 1.地域資源を活用した地域経済循環 | 2.まちなか再生 |
| 地場産品発掘・販路開拓 | <input type="radio"/> 中心市街地活性化 |
| 6次産業化 | <input type="radio"/> 空地・空家・空きビル・空き店舗等対策 |
| 経営資源の引継(事業承継等)・起業支援 | <input type="radio"/> 商店街活性化 |
| <input type="radio"/> 地域中核企業等の支援 | <input type="radio"/> その他 |
| <input type="radio"/> その他 | |
| 3.生活機能の維持 | 4.環境保全・SDGs |
| <input type="radio"/> 地域医療・福祉 | 分散型エネルギーシステム |
| 地域交通 | 地球温暖化対策 |
| <input type="radio"/> 集落機能の確保 | 廃棄物・リサイクル対策 |
| <input type="radio"/> その他 | <input type="radio"/> その他 |
| 5.防災減災・危機管理 | 6.観光振興・交流 |
| 建築物耐震化・長寿命化 | DMOとの連携 |
| 地区防災計画 | <input type="radio"/> インバウンド対応 |
| BCP | 民泊・農泊 |
| 避難所運営 | <input type="radio"/> 地域おこし協力隊の推進 |
| 感染症対策 | <input type="radio"/> その他 |
| <input type="radio"/> その他 | |
| 7.関係人口の創出・拡大 | 8.移住・定住促進 |
| <input type="radio"/> 滞在・活動の場づくり | <input type="radio"/> 起業・事業承継等支援 |
| <input type="radio"/> 地域おこし協力隊の推進 | 空地・空家対策 |
| <input type="radio"/> 地域と関係人口の協働 | <input type="radio"/> 地域おこし協力隊の推進 |
| その他 | その他 |
| 9.少子化対策、子ども・子育て支援 | 10.地域づくり人材の育成・教育 |
| <input type="radio"/> 結婚・出産・子育て支援 | <input type="radio"/> 人材研修 |
| <input type="radio"/> 働き方改革 | <input type="radio"/> ふるさと教育 |
| <input type="radio"/> 子どもの貧困対策 | <input type="radio"/> 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等) |
| その他 | その他 |
| 11.自治体経営イノベーション | 12.シティプロモーション・地域PR |
| 財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備) | <input type="radio"/> 地域ブランディング |
| 官民連携(PPP・PFI) | <input type="radio"/> メディア活用策 |
| <input type="radio"/> 自治体間連携 | 効果の把握・評価 |
| <input type="radio"/> 住民参加 | <input type="radio"/> その他 |
| EBPMに基づく政策立案 | |
| その他 | |

関連ホームページ

| | |
|---------------|---|
| 図書館と地域をむすぶ協議会 | http://toshokan.club |
| 編集工学機動隊GEAR | http://eegear.jp |
| 幕別町図書館 | https://mcl.makubetsu.jp/ |

連絡先

| | | | |
|---------|-----------------------|--|--|
| メールアドレス | go [アットマーク] eegear.jp | | |
|---------|-----------------------|--|--|

※メールを送る際には[アットマーク]を「@」に変えてください。